

船舶事故調査報告書

平成25年9月12日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	同乗者死亡
発生日時	平成24年8月4日（土） 23時25分ごろ
発生場所	東京都足立区から葛飾区に架かるJR常磐線中川橋梁上流の中川 （概位 北緯35°46.2′ 東経139°51.5′）
事故調査の経過	平成24年8月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{かいと} 海仁Ⅲ、11.34トン 232-7141埼玉、個人所有 8.41m (Lr) × 3.17m × 1.65m、FRP ディーゼル機関2基、220.66kW（合計）、平成元年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 48歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成16年11月29日 免許証交付日 平成21年10月6日 （平成26年11月28日まで有効） 同乗者A 男性 44歳
死傷者等	死亡 1人（同乗者A）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者Aほか4人を乗せ、埼玉県戸田市でバーベキューをしながら飲酒し、夜間、花火見物ののち、荒川経由で東京湾に入り、お台場の夜景を観覧後に帰途につき、荒川経由で葛飾区の中川に入り、約25ノットの速力で埼玉県八潮市の係留地に向けて帰航していたところ、同乗者Aが、トイレに行くためにフライングブリッジ右舷側に設置されている高さ約1.5mの3段のパイプはしごを使って同パイプを手でつかみながら、後ろ向きで船尾甲板に下りようとしたところ、足か手を滑らせて平成24年8月4日23時25分ごろ右舷側に落水した。 船長は、同乗者Aの落水を見た他の同乗者からの連絡で停船させ、同乗者Aを捜したが見付からず、消防署に通報した。 同乗者Aは、行方不明となり、6日に八潮市の潮止橋上流の中川で発見され、溺死と検案された。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 1、視界 良好 水象：不明</p>
<p>その他の事項</p>	<p>同乗者Aは、Tシャツ及び半ズボンを着用しており、救命胴衣を着用していなかった。 同乗者Aは、350ml入りの缶ビールを5缶以上飲んでいた。</p>
<p>分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>同乗者Aは溺死した。</p> <p>本船は中川を八潮市にある係留地に向けて帰航中、同乗者Aが、フライングブリッジからはしごを使って船尾甲板に下りようとしたところ、落水したものと考えられるが、同乗者Aが落水に至った状況及び操船状況については、関係者の協力が得られなかったため、明らかにすることはできなかった。</p> <p>同乗者Aは、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が中川を八潮市にある係留地に向けて帰航中、同乗者Aが、フライングブリッジからはしごを使って船尾甲板に下りようとしたところ落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船長は、乗船者に対して救命胴衣等の着用に努めること。